

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27 12	高等学校	公民科	現代社会	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	現社 321	高等学校 改訂版 現代社会		

1. 編修の趣旨及び留意点

現代社会の本質を広い視野に立って理解できるよう、さまざまな諸制度・諸事象などをわかりやすく解説した。その際、現代社会に生きる人間としてのあり方・生き方について、主体的に考察し、公正に判断できる良識ある公民として必要な能力や態度を育てることをねらいとした。また、グローバル化が進展するなかで、生徒の主体的な学習を重視しつつ、現代社会に対して関心を高めながら意欲をもって考察できるよう留意した。

2. 編修の基本方針

本書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、下記のような基本方針に基づいて編修した。

1. 倫理, 社会, 文化, 政治, 法, 経済, 国際社会などの学習項目を分野別に構成し, 生徒の立場から平易でわかりやすい本文記述になるよう努めた。その際, 身近で具体的な事柄と結びつけて理解でき, 考察が深められるよう配慮した。
2. 広い視野に立って, 現代の社会的事象を多面的・多角的に理解できるよう, 本文はできるだけ身近な具体例を示しながら丁寧に記述し, 重要語句については脚注や参照ページを付して理解しやすくした。また, 本文理解を助けるため, 図表による表現を積極的に取り入れた。また, 統計などの資料の見方・使い方・表現方法を身につけることができるように, データをさまざまなグラフで表現するなどの工夫を随所でおこなった。
3. 現代社会の諸課題を解決していくなかで, 「幸福・正義・公正」の枠組みからどのように考えるのか, 具体的な事例を用いて解説した。各学習項目の中および第3編で「幸福・正義・公正」の枠組みを使って主体的に考察できる課題を設定することで, 現代に生きる人間としてのあり方・生き方への理解が深まるようにした。
4. 各節の冒頭に「ポイント」を設け, 学習項目のねらいを端的に示した。生徒が主体的な学習を通して自ら課題を取り上げ, 考察できるよう配慮した。
5. 第1・2編で随時, 特集ページ「File」を設け, 時事的な題材の教材化や難解な事項の解説を取り上げ, 生徒が問題意識をもって学習に取り組めるように配慮した。
6. 第1・2編で随時, 特集ページ「Column」を設け, 法教育や経済教育, 金融教育, 消費者教育について本文記述を補完し, 現代に生きる公民としての資質を身につけられるようにした。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会のあり方を考察するための枠組みとなる「幸福・正義・公正」の概念を巻頭特集で理解した上で, 各単元末の「幸福・正義・公正」の観点から考える課題を通じて真理を求める態度を身につけられるように配慮した(第1号)。 ・地球環境問題, 資源・エネルギー問題, 生命倫理, 高度情報社会といった現代社会における諸課題を取り上げ, これらの課題解決に向け, さまざまな視点から考察できるよう配慮した(第4号)。 	<p>前見返し裏~p. 1, p. 18, 24, 31, 36</p> <p>p. 6 ~ 36</p>
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 現代に生きる青年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察する課題を章末に設けた。幅広い知識と教養を身につけるために, 現代社会に対する関心を高め, 主体的に考察することの大切さを自覚させるようにした(第1号)。 ・青年期の課題として, 社会参画, インターンシップと職業選択, 生きがいとキャリアデザインなどを扱い, 職業観・勤労観が身につくよう配慮した(第2号)。 ・男女共同参画社会の重要性について丁寧に取り上げ, 主体的に社会の形成に参画し, その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第3号)。 	<p>p. 50</p> <p>p. 44 ~ 46</p> <p>p. 45 ~ 46</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統や文化が、日常生活にさまざまな影響を与えてきたことを取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう留意した。また、あわせて異文化理解の重要性についても取り上げ、それぞれの固有の文化を尊重する態度が養えるよう配慮した（第5号）。 	p.47～51
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察する課題を章末に設けた。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにした（第1号）。 ・日本国憲法第13条「個人の尊重」や第27条「勤労権」を理解させるとともに、新しい人権として「自己決定権」を丁寧に扱うことで、個人の価値の尊重や勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2号）。 ・法や規範の意義や役割、司法制度のあり方について丁寧に取り上げ、主体的に社会形成に参画するための良識ある公民として必要な能力と態度を養えるようにした（第3号）。 ・日本国憲法の諸条項は丁寧に扱い、特に男女平等については、さまざまな法令によって推進されていることが理解できるようにした（第3号）。 ・主権者として政治に対する関心を高め、主体的に社会の形成に参画すべきことを説いた（第3号）。 	p.67, 96, 125 p.82, 87～88, 91～95 p.56～57, 109～111 p.82～96 p.57, 59, 122～125
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察する課題を章末に設けた。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにした（第1号）。 ・国際社会における日本の果たすべき役割について考察できるようにした。特に、国際社会で活躍する日本人を取り上げた資料を通じてキャリアデザインについて考えさせ、職業観・勤労観が身につくよう配慮した（第2, 5号）。 ・国際紛争の諸要因や紛争・対立の事例、国際紛争の解決に向けた取り組みを丁寧に取り上げるとともに、人種・民族問題は基本的人権にかかわる宗教や生き方の問題であることに触れた。国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした（第3, 5号）。 	p.155 p.153～155 p.144～149
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察する課題を章末に設けた。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにした（第1号）。 ・労働基本権や労働三法などの労働法制を丁寧に取り上げるとともに、非正規雇用の増加や女性の労働環境など、今日の労働をめぐる諸問題を深く理解できるようにすることで、個人の価値の尊重や男女の平等、職業および勤労を重んずる態度を養えるようにした（第2, 3号）。 ・消費者問題について丁寧に取り上げ、自主および自律の精神を養うとともに、契約を履行する重要性や契約によって生じる責任について理解できるようにした（第2, 3号）。 ・企業は利潤の追求だけでなく、企業統治の実現や社会的責任を積極的に果たすことが求められていることを示し、多国籍企業の役割についても解説することで、職業生活においても、正義と責任を重んじ、環境保全や文化の尊重などに積極的に関与する態度を養えるようにした（第3, 4, 5号）。 ・公害や地球環境問題を通じて、環境保全のための世界的な行動や持続可能な社会を形成する必要性を説いた（第4号）。 	p.220 p.203～209 p.213～216 p.161～163 p.210～212

<p>第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第6章 国際経済の動向と日本の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察する課題を章末に設けた。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにした(第1号) ・グローバル化する経済について丁寧に取り上げた上で、国際社会の平和と発展に寄与する日本の国際貢献について主体的に考察できるよう配慮した(第5号) 	<p>p.247</p> <p>p.235～239, 245～247</p>
<p>第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第7章 現代に生きる倫理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察する課題を章末に設けた。幅広い知識と教養を身につけるために、現代社会に対する関心を高め、主体的に考察することの大切さを自覚させるようにした(第1号) ・民主社会に生きる倫理について、個人の価値を尊重しつつ、社会契約説や功利主義、正義論などを丁寧に取り上げ、民主社会においては、相互信頼と相互尊重の精神をもって、他者に対して公正な配慮をおこなう態度を養えるようにした(第2, 3号) ・シュヴァイツァーなどの考え方を通して、生命に対する尊重および畏敬の精神をあらゆる生活の中に生かしていくことが、人々が互いに協力して社会生活をおこなっていく上での基本となっていることについて理解を深めることができるよう配慮した(第4号) ・日本の伝統的なものの考え方について丁寧に取り上げ、伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察できるよう配慮した(第5号) 	<p>p.284</p> <p>p.266～284</p> <p>p.280～281</p> <p>p.259～265</p>
<p>第3編 ともに生きる社会をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2編で学習した「幸福・正義・公正」の考え方をを用いて考察させる「ケーススタディ」を中心に展開した。持続可能な社会の形成に参画するという観点から、「ケーススタディ」を通じて、幅広い知識と教養を身につけるとともに、現代に生きる人間としてのあり方や生き方について考察できるよう配慮した(第1号) ・税負担の問題、エネルギー問題、人口問題といった課題から、自己の生き方と他者や社会とのかかわりについて考察させ、主体的に社会形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにした(第2, 3, 4, 5号) 	<p>p.286～291</p> <p>p.286～291</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」などの規定を踏まえ、私たちの暮らす社会におけるさまざまな法令を実感できるよう、巻末資料として日本国憲法や労働基準法をはじめとする各種法令を紹介した。
- ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身につくよう配慮した。
- ・課題探究学習について、学習の手順の一例を「スキルアップ」としてまとめ、学び方が身につくよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27 12	高等学校	公民科	現代社会	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	現社 321	高等学校 改訂版 現代社会		

<p>1. 編修上特に意を用いた点や特色</p> <p>1. 各学習項目を分野別にまとめることによって、現代社会をさまざまな角度から体系的に学習できるように配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上のさまざまな課題，青年期，法，政治，国際政治，経済，国際経済，倫理と，学習項目の漏れをなくし，それぞれをまとめて体系的な学習できるように配慮した。また，単なる知識の習得に終わらせることなく，参照ページを丁寧に入れて，それぞれが相互に関連していることがわかるようにした。 ・日本が抱える領土問題について項目立てで取り上げ，国際平和の維持と安定のためにも，平和的な解決に向けて，広い視野から継続的に努力する態度が必要であることを認識できるよう配慮した。 ・本文ページには，生徒が広い視野に立って学習できるよう，学習項目を深く掘り下げて考察できる特集ページ「File」を設け，体系的な学習を補助するとともに学習意欲を高められるよう配慮した。 <p>2. 学習内容の理解を深めるために，主体的・能動的に学習活動がおこなえるよう配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会のかかえる課題や特徴が理解できるように，十分な記述・図表・資料・脚注を取り入れた。また，本文記述と本文記述に関連する図表・資料・脚注は同ページで扱い，より主体的かつ積極的に学習活動に取り組めるよう配慮した。 ・法や規範の意義と役割，契約履行の重要性，司法制度のあり方，金融商品の多様化など，日常生活に密接に関連した具体的な事例について，特集ページ「Column」を設けた。生徒の理解を補助するとともに，主体的な学習ができるよう配慮した。 ・図表・資料・写真から，現代社会の諸課題を読み取れるような発問や知識を「資料をよむ」として設け，学習活動の流れの中で能動的に取り組めるよう配慮した。 <p>3. 写真や図版を豊富に掲載し，本文とのつながりを意識的に持たせ，効果的な学習ができるよう配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に図表・資料・写真を掲載し，ビジュアルな紙面を通して現代社会の基礎的な学習ができるよう配慮した。 ・図や写真に番号をつけ，授業の際により効果的な学習活動をおこなえるよう配慮した。 <p>4. 言語活動を充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3編の課題探究学習では自分の考えをまとめたり，グループで話し合ったりする作業内容を取り入れ，さまざまな作業学習を通して言語活動に主体的に取り組めるよう配慮した。 <p>5. 社会のあり方を考察する「幸福・正義・公正」の枠組みを理解し，課題解決のための思考力や判断力などを育めるよう配慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1編では，社会の諸問題に対する実際の解決方法を，「幸福・正義・公正」の観点から捉え直し，「幸福・正義・公正」の枠組みを理解することを重視した。 ・第2編以降は，第1編で習得した「幸福・正義・公正」の枠組みを使って現代社会の諸課題について主体的に考察する態度を養えるよう留意した。

2. 対照表																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">図書の構成・内容</th> <th style="width: 20%;">学習指導要領の内容</th> <th style="width: 15%;">該当箇所</th> <th style="width: 15%;">配当 時数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">第1編 私たちの生きる社会</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">地球環境問題</td> <td style="padding: 5px;">(1) - ア</td> <td style="padding: 5px;">p.6～18</td> <td style="padding: 5px;">2</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">資源・エネルギー問題</td> <td></td> <td style="padding: 5px;">p.19～25</td> <td style="padding: 5px;">1</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">科学技術の発達と生命倫理</td> <td style="padding: 5px;">(1) - ア</td> <td style="padding: 5px;">p.26～31</td> <td style="padding: 5px;">1</td> </tr> </tbody> </table>	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	第1編 私たちの生きる社会				地球環境問題	(1) - ア	p.6～18	2	資源・エネルギー問題		p.19～25	1	科学技術の発達と生命倫理	(1) - ア	p.26～31	1			
図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数																				
第1編 私たちの生きる社会																							
地球環境問題	(1) - ア	p.6～18	2																				
資源・エネルギー問題		p.19～25	1																				
科学技術の発達と生命倫理	(1) - ア	p.26～31	1																				

高度情報社会と私たちの生活		p.32～36	1
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方			
第1章 現代に生きる青年			
青年期の意義と自己形成の課題	(2) - ア	p.38～43	2
現代社会における青年の生き方		p.44～46	1
伝統や文化と私たちの生活		p.47～51	1
第2章 個人の尊重と法の支配			
民主政治における個人と国家	(2) - イ	p.52～55	1
基本的人権と法の支配	(2) - ウ	p.56～63	2
世界のおもな政治体制		p.64～67	1
第3章 現代の民主政治と政治参加の意義			
日本国憲法の基本原理		p.68～71	1
平和主義と安全保障		p.72～81	2
基本的人権の保障と新しい人権	(2) - イ	p.82～96	3
国民権と議会制民主主義	(2) - ウ	p.97～100	1
内閣と行政の民主化		p.101～104	1
裁判所と人権保障		p.105～111	2
地方自治と住民の福祉		p.112～117	1
世論形成と政治参加		p.118～125	1
第4章 国際政治の動向と日本の役割			
国家主権と国際法		p.126～128	1
国際連合の役割		p.129～134	2
今日の国際社会	(2) - オ	p.135～139	1
核兵器の廃絶と国際平和		p.140～143	1
地域紛争と人種・民族問題		p.144～149	1
国境と領土問題		p.150～152	1
外交政策と日本の役割		p.153～155	1
第5章 現代の経済社会と私たちの生活			
経済社会と経済体制		p.156～159	1
経済主体と企業の活動		p.160～164	1
市場経済のしくみ		p.165～170	2
経済成長と景気変動		p.171～174	1
政府の経済的役割と租税の意義	(2) - エ	p.175～180	1
金融機関のはたらき		p.181～188	2
戦後の日本経済の動き		p.189～194	1.5
産業構造の変化		p.195～202	1.5
雇用と労働問題		p.203～209	2
公害の防止と環境保全		p.210～212	1
消費者保護と契約		p.213～216	1
社会保障と国民福祉	(2) - エ	p.217～221	1
第6章 国際経済の動向と日本の役割			
国際経済のしくみと貿易の拡大		p.222～230	2
進む経済統合	(2) - オ	p.231～234	1
国際経済の動向		p.235～239	1
発展途上国の経済と南北問題		p.240～244	1
国際協調と日本の役割		p.245～247	1
第7章 現代に生きる倫理			
豊かな人生を求めて	(2) - イ	p.248～258	2
日本の伝統的なものの考え方	(2) - ウ	p.259～265	1
近代の西洋思想		p.266～273	1
現代に生きる人間の倫理		p.274～284	1
第3編 とともに生きる社会をめざして			
ケーススタディ 税と社会	(3)	p.286～287	1

	東日本大震災後のエネルギー 問題をめぐって	p.288 ~ 289	1
	人口問題と私たちの未来	p.290 ~ 291	1
スキルアップ		p.292 ~ 294	1
		計	64